

【2022年3月期第3四半期の実績について】																																																																																																																																																																																																																																							
Q1	第3四半期の業績について、事業環境なども踏まえてセグメント別に教えてください。																																																																																																																																																																																																																																						
A1	<p>営業活動利益は前年同期比 65 億円（44.9%）増加の 211 億円、当期利益(親会社所有者帰属)は 35 億円（40.6%）増加の 120 億円となり、新型コロナウイルス発生以前の 2019 年 3 月期の利益水準を回復しました。</p> <p>営業活動利益の主な増減要因は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ICT ソリューション事業は、企業の IT 投資が堅調な中、インフラ構築ビジネスの展開に加えソリューションビジネスおよびリモートワーク環境の整備に注力し、ネットワークセキュリティ関連のほか、ストレージ関連の案件が好調に推移し、増益となりました。 ● モバイル事業は、ショップの来店者数は回復するものの、コロナ禍での店舗支援金など手数料収入が減少したこともあり減益となりました。 ● 畜産事業は、緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の影響により外食産業向けの需要は低迷していたものの、前期の在庫解消や畜産物価格の上昇等により増益となりました。 ● 鋼管事業は、エネルギー需要が大きく減退した前期から、欧米経済の回復により北米での鋼管需要も回復しつつあり、増益となりました。 ● 航空宇宙事業は、官公庁向け契約の端境期にあることや航空機部品取引が低調に推移していることから、減益となりました。 <p>これらの結果を受け、営業活動に係る利益の事業別通期見通しを修正しております。</p> <p>セグメント別 営業活動に係る利益/当期利益（親会社所有者帰属）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">(単位：億円)</th> <th colspan="3">営業活動に係る利益</th> <th colspan="3">当期利益（親会社帰属）</th> <th colspan="2">(参考)22/3月期見通し 営業活動に係る利益</th> <th colspan="2">(参考)22/3月期見通し 当期利益（親会社帰属）</th> </tr> <tr> <th>21/3月期 3Q実績</th> <th>22/3月期 3Q実績</th> <th>増減</th> <th>21/3月期 3Q実績</th> <th>22/3月期 3Q実績</th> <th>増減</th> <th>(前回修正)</th> <th>(今回修正)</th> <th>(期初見通し)</th> <th>(今回修正)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICTソリューション</td> <td>64</td> <td>75</td> <td>▲11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>123</td> <td>123</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>モバイル</td> <td>31</td> <td>26</td> <td>▲6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>57</td> <td>42</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>▲9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12</td> <td>19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電子・デバイス</td> <td>100</td> <td>114</td> <td>▲15</td> <td>47</td> <td>43</td> <td>▲5</td> <td>192</td> <td>184</td> <td>90</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>食品</td> <td>▲1</td> <td>2</td> <td>▲3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>畜産</td> <td>▲7</td> <td>19</td> <td>▲26</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>食糧</td> <td>26</td> <td>22</td> <td>▲4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>18</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>▲0</td> <td>0</td> <td>▲0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>食料</td> <td>18</td> <td>43</td> <td>▲25</td> <td>18</td> <td>31</td> <td>▲13</td> <td>35</td> <td>48</td> <td>23</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>工作機械・産業機械</td> <td>▲2</td> <td>6</td> <td>▲8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td>▲5</td> <td>12</td> <td>▲17</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7</td> <td>13</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エネルギー・化学品 他</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>▲1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>14</td> <td>18</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼・素材・プラント</td> <td>8</td> <td>31</td> <td>▲23</td> <td>13</td> <td>30</td> <td>▲17</td> <td>31</td> <td>41</td> <td>25</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>航空宇宙</td> <td>13</td> <td>5</td> <td>▲8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>車両・車載部品</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>▲6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>▲0</td> <td>▲0</td> <td>▲0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>車両・航空</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>▲2</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>9</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>その他、消去</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>▲3</td> <td>▲2</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>146</td> <td>211</td> <td>▲65</td> <td>85</td> <td>120</td> <td>▲35</td> <td>280</td> <td>300</td> <td>150</td> <td>160</td> </tr> </tbody> </table>	(単位：億円)	営業活動に係る利益			当期利益（親会社帰属）			(参考)22/3月期見通し 営業活動に係る利益		(参考)22/3月期見通し 当期利益（親会社帰属）		21/3月期 3Q実績	22/3月期 3Q実績	増減	21/3月期 3Q実績	22/3月期 3Q実績	増減	(前回修正)	(今回修正)	(期初見通し)	(今回修正)	ICTソリューション	64	75	▲11				123	123			モバイル	31	26	▲6				57	42			その他	4	13	▲9				12	19			電子・デバイス	100	114	▲15	47	43	▲5	192	184	90	73	食品	▲1	2	▲3				2	3			畜産	▲7	19	▲26				15	20			食糧	26	22	▲4				18	25			その他	▲0	0	▲0				0	0			食料	18	43	▲25	18	31	▲13	35	48	23	34	工作機械・産業機械	▲2	6	▲8				10	10			海外	▲5	12	▲17				7	13			エネルギー・化学品 他	14	13	▲1				14	18			鉄鋼・素材・プラント	8	31	▲23	13	30	▲17	31	41	25	37	航空宇宙	13	5	▲8				6	6			車両・車載部品	2	8	▲6				8	11			その他	▲0	▲0	▲0				0	0			車両・航空	15	13	▲2	10	10	0	14	17	9	13	その他、消去	6	9	▲3	▲2	6	8	8	10	3	3	合計	146	211	▲65	85	120	▲35	280	300	150	160
(単位：億円)	営業活動に係る利益			当期利益（親会社帰属）			(参考)22/3月期見通し 営業活動に係る利益		(参考)22/3月期見通し 当期利益（親会社帰属）																																																																																																																																																																																																																														
	21/3月期 3Q実績	22/3月期 3Q実績	増減	21/3月期 3Q実績	22/3月期 3Q実績	増減	(前回修正)	(今回修正)	(期初見通し)	(今回修正)																																																																																																																																																																																																																													
ICTソリューション	64	75	▲11				123	123																																																																																																																																																																																																																															
モバイル	31	26	▲6				57	42																																																																																																																																																																																																																															
その他	4	13	▲9				12	19																																																																																																																																																																																																																															
電子・デバイス	100	114	▲15	47	43	▲5	192	184	90	73																																																																																																																																																																																																																													
食品	▲1	2	▲3				2	3																																																																																																																																																																																																																															
畜産	▲7	19	▲26				15	20																																																																																																																																																																																																																															
食糧	26	22	▲4				18	25																																																																																																																																																																																																																															
その他	▲0	0	▲0				0	0																																																																																																																																																																																																																															
食料	18	43	▲25	18	31	▲13	35	48	23	34																																																																																																																																																																																																																													
工作機械・産業機械	▲2	6	▲8				10	10																																																																																																																																																																																																																															
海外	▲5	12	▲17				7	13																																																																																																																																																																																																																															
エネルギー・化学品 他	14	13	▲1				14	18																																																																																																																																																																																																																															
鉄鋼・素材・プラント	8	31	▲23	13	30	▲17	31	41	25	37																																																																																																																																																																																																																													
航空宇宙	13	5	▲8				6	6																																																																																																																																																																																																																															
車両・車載部品	2	8	▲6				8	11																																																																																																																																																																																																																															
その他	▲0	▲0	▲0				0	0																																																																																																																																																																																																																															
車両・航空	15	13	▲2	10	10	0	14	17	9	13																																																																																																																																																																																																																													
その他、消去	6	9	▲3	▲2	6	8	8	10	3	3																																																																																																																																																																																																																													
合計	146	211	▲65	85	120	▲35	280	300	150	160																																																																																																																																																																																																																													

Q2	「その他の金融費用」▲15.8億円は何か、ご説明をお願いします。
A2	持分法投資先への優先株式を全額評価減したことによる損失が大宗となります。
	【2022年3月期見直しについて】
Q3	通期見通しの上方修正について、修正の理由を教えてください。
A3	優先株式の評価減などはありませんでしたが、修正前の通期見直しに対する営業活動利益の進捗率は75%、親会社所有者帰属四半期利益の進捗率は80%で足元の業績は順調に推移しております。第3四半期で当初の通期見通しをすでに超過している食料セグメントを中心に、各セグメントの第4四半期会計期間の予想数字を見直した結果、見通しを上方修正することといたしました。しかしながら、モバイル事業では手数料収入の減少、畜産事業では市況がピークアウトの傾向を見せているなどの不透明な要素もあり、事業によっては若干の減速を見込んでおります。
Q4	モバイル事業の営業活動利益は、前年同期比減益です。収益は前期比増収なので販売台数は回復傾向と考えられますが、営業活動利益の減益の理由について教えてください。また、半導体不足やオンライン専用プランの影響なども含め、今後の見直しについては、どのように考えていますか。
A4	販売台数は、昨年対比では110%超と回復していますが、新型コロナウイルス拡大前の一昨年対比では9割程度に留まっています。都市部を中心に一昨年対比で来店者数が半減している店舗があるなど戻りが弱いことに加えて、新型コロナウイルス対策としての通信キャリアからの支援金が減少したことも響き、苦戦しております。 また、半導体不足や供給網の混乱から、法人需要の高い機種などでの品不足も影響しています。都市部ではオンライン専用プランの普及もある程度は進んでいると考えられ、来店者数の減少傾向は続くと思われるため、減少幅の大きな店舗は店舗規模の適正化（店舗移転・スタッフ数見直し）を重点課題として着手しているところです。 一方、キャリアショップ店頭を活用した新規ビジネスも予定どおりスタートし成果を上げつつあります。キャリア手数料に依存しない新たな収益源として取組みを強化して参ります。
Q5	北米の鋼管事業は、今期は収支均衡を目指していましたが、第3四半期で12億円の営業活動利益が出ています。この好調は通期に向けても続くのでしょうか。
A5	原油の供給不足懸念や、コロナ禍からの景気回復が本格化している米国で燃料需要が拡大していることなどから、原油価格が上昇しリグカウントは前期から回復基調にあります。鋼管販売事業は黒字化が定着しつつあり、回復傾向にあることは確かですが、リグカウントの水準自体は600基台に留まるため、鋼管事業の事業環境は引き続き回復のペースは鈍いと見ています。

【投資について】	
Q6	投資の進捗状況、および今期中の見通しについて教えてください。
A6	<p>複数の案件が進行していますが、第3四半期までに実行した投資案件は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● セイコーエプソンからの IC テストハンドラー事業の譲受。 ● ヘキサフリー大豆加工メーカーへの出資。 ● 兼松コミュニケーションズ株式会社による携帯電話販売代理店である株式会社エヌ・エス・シーの全株式取得。 ● 兼松エレクトロニクス株式会社による、アプリケーション開発や IT コンサルティングを提供するキーウェアソリューションズ株式会社との資本業務提携。 ● 韓国鋼板加工メーカーの持分法投資先への追加出資。 ● 兼松アドバンスド・マテリアルズ株式会社による電子材料取扱商社である寒川商事株式会社の全株式取得。 ● 貿易プラットフォームを産業界へ普及させるための戦略的投資会社 TW Link の設立。 ● 北米の鋼管加工事業において第二工場を設立。 ● インドネシアにおける乳製品・食品加工・物流会社を持つ総合食品メーカーへの出資。 <p>上記のほか、現在、パイプラインに複数の投資案件があります。</p>
【株主還元について】	
Q7	配当予想の上方修正について、修正の理由を教えてください。
A7	<p>新型コロナウイルスによる減益傾向の中、配当額は維持しておりましたが、業績予想を上方修正したことに伴い、当期の期末配当金の予想を5円増額し65円といたしました。中期ビジョン <i>future 135</i> の総還元性向は30~35%を目処としておりますが、増配により配当性向は33.9%となる見込みです。今後も投資と株主還元のバランスを取りつつ、継続的かつ安定的な配当を実施するという方針に変更はなく、事業投資の積上げなどによる当期利益伸長により年間配当額を増大させていく考えです。</p>
【脱炭素社会の実現について】	
Q8	脱炭素社会の実現に向けた兼松の取組みや考え方などを教えてください。
A8	<p>当社は昨年6月にTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に賛同を表明しました。環境問題は企業にとっての責務と認識しています。当社グループでは資源ビジネスや石炭火力発電など環境負荷の高い事業を行っておらず、GHG排出量はあまり多くはありませんが、現在、当社グループのGHG排出量の算出作業に着手しており、ネットゼロまでの具体的な計画も作成していく考えです。カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すため、自社での排出量削減の努力に加え、自社で創出したクレジットなども活用して、早期のネットゼロを実現したいと考えております。</p> <p>【脱炭素社会の実現に向けての当社グループの取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 当社と子会社の株式会社データ・テックがインドネシア国営石油会社プルタミナと輸送トラックの燃費改善による脱炭素化と物流効率改善への共同実証に合意し支援実証を開始しております。 ● 当社子会社の兼松ペトロ株式会社が持続可能な脱炭素社会の実現を目指す企業グループ「日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP)」へ加盟しております。

【DX 推進について】	
Q9	Future135では「グループをあげた DX 推進」を掲げていますが、その進捗を教えてください。
A9	<p>当社グループは、昨年7月にDX推進委員会を設置し、兼松と兼松エレクトロニクスの執行役員を委員とし、ビジネス毎のDX検討、グループ共通IT環境の整備等を推進中です。経営会議のペーパーレス化などを実施しましたが、現場改善にとどまらず経営自ら改革を進めて参ります。</p> <p>【DX推進の実例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全ての社内決裁を電子化した「HI-MAWARI」の開発。 ● 経費精算のアウトソーシングである「Concur」の導入。 ● 事業共創のためのプラットフォーム「Business Co-Creation Center」の立上げ。 ● AI技術を活用した画像検査サービス「AIPENET」の販売開始。 ● DX認定事業者認定された兼松エレクトロニクスにおいて、コンテナプラットフォームをはじめとするDX推進ソリューションの提案・導入。 ● 兼松サステックにおいて、同社開発の地盤トータルサポートシステム「e-soil」に蓄積された、地盤のビックデータを活用した新規ビジネス展開ならびに同システムの外部販売。 ● 兼松コミュニケーションズにおいて、バックオフィスのほか製造業、建設業、小売業、医療介護の業界別DXソリューションを展開。

以 上